

令和6年度当初予算の概要

岐阜県 池田町



1. 当初予算規模

当初予算額

	令和6年度	令和5年度
一般会計	100億 8百万円	95億67百万円 (対前年 4.6%増)
特別会計	29億18百万円	39億69百万円 (対前年 26.5%減)
計	129億26百万円	135億36百万円 (対前年 4.5%減)

* 令和6年度当初予算の概要(計数編)13・14・15 ページ参照

一般会計当初予算額は、100 億 800 万円で、前年度と比べて4億 4,100 万円(4.6%)の増額となり2年続けて**過去最大規模**となります。

また、特別会計を含む全会計当初予算総額は、129 億 2,600 万円で前年度比6億 1,000 万円(4.5%)の減額となります。これは公営企業会計(上水道事業会計含む)へ令和6年度から新たに農業集落排水事業会計と公共下水道事業会計が移行するためです。

増額となった要因としては、新型コロナウイルスワクチン接種事業や庁舎受変電設備及び空調設備改修工事事業は減となる一方、全国的な**賃金上昇や物価高騰の影響**により人件費・補助費・物件費・普通建設事業費等が、**軒並み増**となったこと、また、新たな農業集落排水事業会計と公共下水道事業会計へ**出資金・繰入金が増**となったことによるものです。

歳入について、町税ではコロナ禍の3年間を乗り越え社会経済活動は前向きな動きが進みつつある中、緩やかな持ち直しが続く企業収益や個人所得が改善しているため町民税の増加が見込まれるものの、固定資産税は減収が見込まれ、町税全体としては1,246 万円の減額となっています。また、給与改定・会計年度任用職員への勤勉手当支給、物価高への対応等に伴い地方交付税で1億 800 万円の増額を見込んでいます。なお、寄附金のふるさと納税については5,000 万円の減額、繰入金では財政調整基金繰入金で1 億 5,000 万円の増額を見込んでいます。

歳出について、池田東地区公園整備事業【1億 6,819 万円】、池田中学校体育館空調設備設置工事【1億 4,946 万円】等の新規事業により普通建設事業費で9,501 万円の増額、給与改善計画による増や正職員数(188 人)の維持、会計年度任用職員期末勤勉手当が増されたことにより人件費は8,610 万円の増額、システム標準化移行業務委託料などの増により物件費で3,114 万円の増額となっています。その一方で、公債費は令和4年度をピークに1,272 万円の減額となっています。

2. 令和6年度の施策方針

コロナ禍の3年間を乗り越え、社会経済活動は前向きな動きが進みつつある中、全国的な賃金上昇は物価上昇に追い付いておらず我が国経済を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした状況のなかあらゆる事態に柔軟かつ的確に対応し課題を解決してまいります。

令和6年度は、「池田町第六次総合計画」に位置付けた町の将来像『ぬくもりがあふれるまち 池田町 ～ふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ～』の実現に向けた**中間見直しの年**にあたります。厳しい財政状況の中、長期的な視点を持ちつつ、これまでの取り組みを検証し、国・県の政策や関係団体などとも連携しながら、公共施設の老朽化対策・適正配置や民営化・指定管理者制度の活用など積極的に展開し、**財政計画を見直し**、まちの機能を維持しながら活力を損なわない、未来へ繋ぐ持続可能なまちづくりを進めてまいります。

一方、本町においてもコロナ禍の影響で**人口減少・少子化が深刻化**しており、町の合計特殊出生率は1.07(令和2年度数値)であり、岐阜県平均1.36を大きく下回っております。そのため、**役場職員が112のアイデアを提案**し、新年度は**5施策を予算化**いたしました。**「未来への投資」**として、大学生まで養老鉄道通学定期乗車券購入助成金事業の拡充、不妊治療費助成制度の創設、家事・育児のお助け制度の創設など、結婚・妊娠・出産・子育てに至るまで切れ目のないこども・若者・子育て世帯への支援など、少子化対策を強力に進めるため、**めりはりがついた予算配分**を行いました。さらに多様性が尊重され、全ての人が力を発揮できる包摂社会の実現を目指してまいります。

こうした中、地域経済の回復・活性化のため、ポストコロナに向け地域の脱炭素化の推進やデジタル田園都市国家構想の事業推進を図るなど、時勢を捉え、躊躇なく機動的に事業を進めます。グリーン社会の実現に向け、令和5年度から引き続き、町内の学校・地区公民館など公共施設において、順次、照明機器のLED化による脱炭素化推進事業を行います。また、デジタル社会の実現に向け、多言語対応端末を窓口に設置し、外国人を含む町民サービスの向上、学校・保育園のICT化に向けた環境整備を促進し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指すとともに、地域創生につなげてまいります。

生活基盤関連については、通学の移動手段の確保のひとつとして養老鉄道通学定期券助成事業を大学生まで拡充し経済負担の軽減、養老鉄道の存続支援に取り組み、交通弱者に対しては引き続き、タクシー利用助成事業(いけタク)を行います。激甚化する自然災害に備え防災・減災体制の強化、砂防河川の浚渫事業に取り組みます。

保健・福祉関係については、任意予防接種(インフルエンザワクチン)費用の一部助成を高校3年生までに拡充し、感染症予防の推進、経済的負担の軽減を図ります。

地域振興・観光関連については、池田明神線の開設や空き家等の適正管理を進めるほか、前回好評だった第2回 ONSEN ガストロノミーなどの観光イベントを実施します。引き続き、企業誘致を進め、安定した税収と働く場の確保に努め、地域産業の活性化を目指します。

教育関連については、GIGA スクール構想の実現に向けプログラミング教育事業の推進、地域クラブ活動体制の整備を図ります。引き続き、小学生通学路の防犯対策として防犯カメラの設置を進め、宮地小学校・八幡・西公民館・池田公園テニスコートのLED照明取替工事などを行い、安心・安全・快適な施設管理に努めます。

3. 主な歳入歳出

歳入

名称	令和 6 年度	令和 5 年度	比較
町税	31 億 42 万円	31 億 1,288 万円	△1,246 万円
うち町県民税	13 億 3,135 万円	12 億 8,655 万円	4,480 万円
うち固定資産税	15 億 7,475 万円	16 億 3,554 万円	△6,079 万円
地方特例交付金	1 億 200 万円	2,800 万円	7,400 万円
地方交付税	20 億 9,300 万円	19 億 8,500 万円	1 億 800 万円
国庫支出金	7 億 9,642 万円	7 億 2,933 万円	6,709 万円
うち負担金	6 億 3,457 万円	6 億 2,335 万円	1,122 万円
うち補助金	1 億 6,185 万円	1 億 103 万円	6,082 万円
寄附金	4 億 1,369 万円	4 億 5,734 万円	△4,365 万円
うちふるさと支援まちづくり寄付金	4 億 円	4 億 5,000 万円	△5,000 万円
繰入金	7 億 9,637 万円	6 億 7,285 万円	1 億 2,352 万円
うち財政調整基金繰入金	5 億 円	3 億 5,000 万円	1 億 5,000 万円
諸収入	2 億 9,485 万円	3 億 3,281 万円	△3,796 万円
町債	5 億 7,170 万円	4 億 8,770 万円	8,400 万円
合計	100 億 800 万円	95 億 6,700 万円	4 億 4,100 万円

歳出

名称	令和 6 年度	令和 5 年度	比較
人件費	16 億 4,097 万円	15 億 5,487 万円	8,610 万円
扶助費	13 億 9,309 万円	13 億 5,387 万円	3,922 万円
補助費等	17 億 2,148 万円	17 億 661 万円	1,487 万円
うち負担金	16 億 6,261 万円	16 億 5,445 万円	816 万円
うち補助金	5,887 万円	5,216 万円	671 万円
委託料	9 億 8,866 万円	9 億 5,863 万円	3,003 万円
工事請負費	8 億 4,066 万円	8 億 3,031 万円	1,035 万円
備品購入費	4,955 万円	4,709 万円	246 万円
公債費	8 億 922 万円	8 億 2,194 万円	△1,272 万円
積立金	2 億 584 万円	1 億 9,107 万円	1,477 万円
投資及び出資金	3 億 1,948 万円	0 円	3 億 1,948 万円
繰出金	12 億 4,536 万円	13 億 7,018 万円	△1 億 2,482 万円
合計	100 億 800 万円	95 億 6,700 万円	4 億 4,100 万円

4. 主要事業

☆…新規 ◎…拡充 ○…継続
□…SDGs(国連持続可能な開発目標)

(1) 活力あるまちづくり・人づくり (少子化対策)

○結婚新生活支援事業 (県) 【1,500 千円】



令和5年度から結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(引っ越し費用、新居の家賃等)を支援します。 上限:夫婦ともに 29 歳以下 60 万円・39 歳以下 30 万円

☆不妊治療費助成事業 (町・職員アイデア②) 【500 千円】



保険適用の特定不妊治療(顕微授精・体外受精)について、県助成(上限 10 万円)後の全額を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

○出産育児一時金支給事業 (国) 【3,667 千円】



出産にあたって平均的な標準費用を全て賄えるようにする観点から、出産育児一時金 42 万円を令和4年4月から50 万円に増額し支給しています。

◎出産・子育て応援給付金事業 (国) 【13,412 千円】



妊娠届出時より伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスなどにかかる負担軽減を図るため、令和5年度から妊娠届出時に5 万円分、出生届出時に5 万円分の電子クーポンを配布し、経済的支援を一体的に実施します。

○第2子以降出生祝い金支給事業 (県) 【8,000 千円】



令和5年度から第2子以降の出生児に対して10 万円の祝い金を支給します。

○すくすく赤ちゃん券助成事業 (町) 【2,750 千円】



子育て支援施策として、出生届時におむつ・ミルク等の購入代として「すくすく赤ちゃん券」を第1子目には2 万円分、第2子目には3 万円分、第3子目以降は4 万円分と「おむつ用 ごみ袋 30 枚」を交付します。

◎産後ケア事業 (国) 【352 千円】



県助産師会に委託しているアウトリーチ型に加え、近隣産科医療機関にも宿泊型とデイサービス型を委託して心身のケアや育児サポートの支援体制の充実を図ります。

☆子育て世帯訪問家事・育児支援事業 (町・職員アイデア③) 【2,086 千円】



家事・育児に不安や負担を抱える子育て世帯や妊産婦がいる世帯を訪問支援員が訪問し、家事・育児を支援します。 自己負担あり

☆保育園 ICT 化事業 【4,681 千円】



保育の質の向上、保育士業務の負担軽減のため、タブレットシステムを導入し、園児の発育・健康管理や登降園の管理等を行います。

○園児給食費無償化事業（町）【15,216 千円】



子育て支援施策として、3歳以上の園児の給食費（主食費・副食費）を無償化します。

公立 177 人・私立 140 人×4,000 円×12 ヶ月 = 8,496 千円・6,720 千円

○多子世帯保育料無料化事業（町）【3,892 千円】



子育て支援施策として、18 歳以下の児童のうちで第3子目以降の児童に対する保育料の無料化を実施します。19 人分

○子育て就労応援事業（町）【1,542 千円】



平成 30 年に開設した子育て就労応援センターで、大垣ハローワークと連携し、ハローワーク出張相談を行います。また、育児や家事をしながら再就職を考えている母を応援するため、町内企業と連携し、講座やキャリアカウンセリングなどを企画し、出産後も安心して暮らし、働くことができるまちづくりを目指します。

◎インフルエンザ予防接種費用助成事業【2,094 千円】



生後 6 ヶ月から中学3年生までの対象を、高校3年生までに拡大し、妊婦も加え接種にかかる費用を一部助成し、感染症予防を推進するとともに、経済的負担の軽減を図ります。

◎特定健康診査、ぎふ・すこやか健診受診促進事業【2,415 千円】



医療費の抑制、生活習慣病予防を目的とした健診の受診率向上のため、令和5年度より対象者に対して受診勧奨通知、受診者には「温泉券」を配布し、受診率 50.0%を目指します。口腔健診の啓蒙啓発も行います。

特定健診(33%)1,155 千円＋すこやか健診(31%)1,260 千円

○移住定住推進事業【3,634 千円】



町内への移住を推進するため、移住希望者を対象に町内を個別案内し、移住促進を図ります。また、子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空き家の活用を図るため、空き家を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行うとともに東京圏からの移住・就業を後押しするため、移住支援金の給付を行います。

○まちづくり工房事業【3,534 千円】



まちづくり拠点「まちづくり工房 霞溪舎」を中心とした町民参加のまちづくりを推進し、その施設を引き続き指定管理により運営を行います。

○高校生が発信する住みたい街「池田」プロジェクト【2,000 千円】



令和5年度に引き続き、地方創生事業として地元の池田高校と連携し、中高生のシビックプライドの醸成を図り、住みたい街「池田」を目指します。また、ドローン・SNS等を活用して、若者目線で街をPRし多くの方に池田町を訪れてもらえるよう取り組みます。

(2) 地域振興・観光関連事業

☆池田東地区公園整備事業【168,186 千円】



東地区(池田小校下)に各種イベントに対応できる駐車場を含む緑地公園を整備します。
また、災害時の緊急避難場所としても利用します。

☆池田町北部工業団地第6期造成事業【180,000 千円】



土地の取得、造成、売却に関する用地先行取得を実施するため特別会計を設け、企業誘致の推進を図ります。

宮地地内 16,356 m² + 17,029 m²

○工場等設置奨励事業【9,848 千円】



産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業の立地促進を目的に奨励措置を設けます。

○ふるさと納税推進事業【401,145 千円】



池田町を応援していただくため、ふるさと納税の啓発等を行い、特産品等の返礼品を準備し、町の PR を行います。企業版ふるさと納税も推進し町の活性化を図ります。

○町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業【772 千円】



池田町の活性化とPR活動の充実のため、誰からも親しまれ愛されるマスコットキャラクターになるよう努め、HPや各種イベントなどに活用します。

☆ONSEN ガストロミーツーリズム事業【2,539 千円】



池田町の自然や歴史を感じながら「めぐって」、町の美味しいもの・お酒を「食べて(飲んで)」、ウォーキングの後には全国的にも珍しい純重曹のつるつる池田温泉に「つかって」を体験できる、満足度90%以上の滞在型・体験型イベントで2回目になります。このイベントをきっかけに、地域観光資源の活性化のみならず、地域の交流や新たな観光資源の発掘を行います。

○商工業者支援事業【3,100 千円】



商工業者に対して、創業支援、特産品開発支援、中小企業支援補助金制度を令和5年度より創設し、町内での起業などを支援して商工業の活性化を図ります。

創業支援事業補助金	事業費の1/2 上限 50 万円
特産品開発支援事業補助金	事業費の1/2 上限 50 万円
中小企業等補助金申請支援補助金	事業費の2/3 上限 20 万円

○大津谷公園キャンプ場指定管理事業【6,600 千円】



町の観光施設である大津谷公園キャンプ場の管理について、指定管理者制度を活用します。また、家族連れが楽しめるスペースやイベントを提供し交流人口の増加、地域振興を目指します。

◎池田山麓遊歩道第2期整備事業【3,150 千円】



池田山麓のシシ垣を活かして自然・歴史を感じてもらいながら散策できる遊歩道を整備します。地域観光資源の活性化のみならず、地域の交流人口の増加を目指します。

○森林空間施設整備促進事業【3,000 千円】



清流の国ぎふ森林・環境税を活用して、大津谷登山道の改修を行い、観光客の増加を目指します。

○森林環境整備事業【6,123 千円】



森林環境譲与金を活用して、森林経営管理制度による意向調査及び森林の選定業務を実施し、里山林整備業に取り組み、森林景観整備の推進を目指します。

○茶業振興事業【3,786 千円】



池田町茶業振興センターの運営支援や茶業関係団体への助成により、茶業の振興、茶業従事者の技術向上及び後継者育成を目指します。

☆標準化システム整備事業【43,246 千円】



地方公共団体の各課で稼働している情報システム(戸籍、税、福祉、障害者自立支援システム等)について、国のデジタル基盤改革支援補助金を活用し全国統一様式に整備します。

(3)教育関連事業

○入学お祝い金交付事業（町）【6,250 千円】



令和5年度より小学新1年生の入学祝金を5万円に増額支給し、進学に備えた子育て世帯の経済的負担を軽減します。

○中学3年生への準備金支給事業（県）【7,731 千円】



令和5年度より高校進学などを控えた中学3年生に対して3万円の入学準備金を支給し、進学に備えた子育て世帯の経済的負担を軽減します。

○小学生、中学生に対する学校給食費の無償化（町）【110,528 千円】



学校給食費の無償化を令和2年度から小学6年生、令和3年度から中学3年生、令和5年度から小中学校児童生徒全員を対象とし、子育て世代の経済的負担軽減を図ります。

小学生 1,127 人×280 円×204 日

中学生 707 人×320 円×204 日

◎通学路防犯カメラ設置事業【4,233 千円】



小学生通学路の防犯対策として防犯カメラの設置を順次進めます。

○池田町大野町学校給食センター協議会運営費 【113,661 千円】



池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町及び大野町内で給食事業を行います。

○GIGA スクール事業 【14,168 千円】



GIGA スクール構想の実現に向け、小中学生を対象に学習用支援教材(キュビナ・ロイロノート)を使用し ICT 教育の推進を図ります。

○池田町版体験キャリア教育事業 【3,886 千円】



キャリア教育コーディネーター2名が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方やキャリア教育プログラムについて考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指します。

また未来の池田町を担う中学生と池田高校生に対して英検や漢検等の資格取得に対して助成を行うことで、社会で活躍する土台形成を図ります。

○少人数学級指導支援事業 【6,578 千円】



一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行います。

講師配置対象校:八幡小3名、池田小1名

○英語活動支援事業 【9,241 千円】



ALT(Assistant Language Teacher)のほか、町独自に講師を5人配置し、小中学校における英語授業の充実を図ります。(小学校 7,647 千円+中学校 1,594 千円)

また、夏休み英語合宿を中央公民館にて6日間実施します。

○特別支援教育支援事業 【42,430 千円】



学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整えます。(小学校 36,052 千円+中学校 6,378 千円)

支援員 配置校:温知小4人、八幡小3人、池田小3人、池田中3人

アシスタント 配置校:温知小7人、八幡小5人、宮地小3人、池田小3人

☆各小中学校管理事業 【32,429 千円】



宮地小学校プール改修工事 9,902 千円

池田中学校職員玄関ポーチ扉修繕工事 4,650 千円

☆池田中学校体育館空調設備設置事業 【150,963 千円】



池田中学校体育館の空調設備を整備し、生徒の安心・安全・快適な施設管理に努めます。また、災害時の指定避難所としての機能を強化します。

☆地域クラブ活動体制整備事業 【4,119 千円】



令和6年10月から土日休日の中学部活動(運動系・文化系)を地域へ移行するため、池田ジュニアクラブを立ち上げ、円滑に移行できるよう体制整備を行います。

☆文化振興事業 【1,870 千円】



岐阜県が「第 39 回国民文化祭」・「第 24 回全国障害者芸術・文化祭」の開催地にあたり、例年実施の町文化祭をふれ愛の家げんき祭と同時開催します。

(4)生活基盤関連事業

○防災メール活用事業 【1,782 千円】



防災情報等を多くの住民に素早く伝達するため、戸別受信機(防災ラジオ)、メール、ライン、ホームページ等の複数配信メディアに対し、一斉に情報配信するシステムを活用します。

☆公共施設等管理事業 【28,375 千円】



公共施設等の長寿命化、防災・減災対策を目的に庁舎エレベーター改修工事等を行います。

◎脱炭素化推進事業 【51,214 千円】



脱炭素化を目的に宮地小学校、八幡公民館、西公民館、池田公園テニスコート照明の LED 取替工事を行います。3カ年計画により小中学校、地区公民館を順次、LED 照明に取り替えます。

令和5年度実績: 中学校、東公民館、図書館

○地域脱炭素移行・再エネ推進事業 【2,465 千円】



グリーン社会の実現に向け、住宅用太陽光・蓄電池設置に伴う費用に対して「池田町住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金」を支給します。

太陽光 7万円/kW 上限5kW 、蓄電池 15万5千円/kW 上限5kW

○空き家等適正管理活動支援事業 【500 千円】



地域で問題になっている空き家等を適正に管理していくため、雑木・雑草等の処分費を負担します。

○ブロック塀等撤去費補助金交付事業 【1,300 千円】



地震など災害によるブロック塀等の倒壊事故被害を防止し、安全なまちづくりを推進するため、道路に面したブロック塀等の撤去を行う場合に、1件当たり 10 万円を上限に補助金を交付し、ブロック塀等の撤去費用の一部を助成します。

◎自転車用ヘルメット購入助成事業 【500 千円】



自転車用ヘルメットの着用促進のため、購入費用の一部を助成(上限:2,000 円)し、更なる交通安全対策、事故防止を図ります。

◎養老鉄道通学定期券助成事業（職員アイデア①） 【11,976 千円】



対象者を高校生から大学生等に拡充し、通学定期券の助成を行い、子育て世帯の経済負担の軽減と社会参加の促進、養老線の支援にも取り組みます。

○移動手段確保対策事業 【800 千円】



65 歳以上の方を対象に養老線マイレールチケット 21(回数券)を販売定価の 1 割助成します。なお、妊娠中の方にはマイレールチケット 21(回数券)を1回無料配布します。また自動車運転免許返納者へは、2 年間で 4 回まで無料配布します。

○養老線管理機構関連事業 【140,877 千円】



一般社団法人養老線管理機構へ負担金(102,369 千円)と補助金(38,508 千円)を支払い養老線を支援します。

◎タクシー利用助成事業 【16,320 千円】



80 歳以上の高齢者、運転免許証を所有していない高齢者や障がい者に対して経済負担の軽減や社会参加促進を促すため、タクシー利用の助成を行います。

(令和5年度申請者数は、677 人) (1月末日現在)

☆プール施設利用促進事業 【638 千円】



ゆーみんぐ入場回数券の購入助成としてプール施設利用補助金を創設し、健康促進と西濃環境整備組合の運営を支援します。

○敬老の日記念事業 【7,297 千円】



88 歳の方を対象とした長寿お祝い式典を中央公民館にて開催、79 歳以上の方を対象とした記念品の配布を実施します。

○福祉医療扶助事業 【230,361 千円】



子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができます。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	962	31,800
児童・生徒扶助	2,405	83,600
高校生等扶助	709	24,645

○放課後児童クラブ事業 【36,505 千円】



仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中、保護者に代わり、適切な遊びや生活の場を小学校毎に開設します。（利用予定者数:209 人、対象児童は小学校 6 年生まで）

○子ども食堂・子ども宅食支援事業 【1,800 千円】



令和5年度より、子ども食堂の新設・拡充、運営費に対する補助を行い事業者を支援します。 上限:年 48 回以上 120 万円・年 12 回以上 60 万円

○社会資本整備総合交付金事業 【47,000 千円】



地域基盤整備工事 道路舗装

上八幡 60 号線 L=220m 21,500 千円 (2 ヶ年事業)

○緊急自然災害防止対策事業 【14,300 千円】



道路防災 道路舗装整備

沓井駅前線 L=330m 14,300 千円

○道路改良事業 【47,400 千円】



町道アスファルト舗装工事

小寺1号線 L=220m 5,700 千円

杉野 27・28 号線 L=160m 3,800 千円

六之井 39・44・61 号線 L=280m 9,000 千円

六之井 10 号線 L=170m 6,200 千円

道路改良工事

般若畑5号線 L=129m 18,700 千円

◎緊急浚渫推進事業 【71,360 千円】



減災対策の一環として、砂防河川内の樹木の除去及び堆積土砂の浚渫を順次実施します。 R5～R6:大谷・大津谷、R6～R7:大津谷・中谷

◎林道池田明神線等開設事業 【50,000 千円】



平成27年度から1級林道池田明神線の第二期事業に着手し、令和6年度中の完成を目指して林道改築工事を施工します。

L=500m/W=5.0m

○農作物野生獣被害防止対策事業 【4,539 千円】



山林のふもと付近に住みついたシカやイノシシなどが、農作物に被害を与え農家の経営に影響を及ぼしていることから、片山南地区に鳥獣防護柵を設置し、農作物被害の抑制を図ります。

☆戸籍読み仮名表記事業 【1,177 千円】



戸籍の振り仮名、旧氏表記に対応するため、戸籍システムを改修します。

☆デジタル田園都市国家構想推進交付金事業（職員アイデア④） 【6,984 千円】



近年、外国人労働者が毎年100人程度増加しているため、職員の窓口対応にてタブレットシステムを4台導入し、三者間通訳(多言語翻訳・音声筆談・手話通訳等)を行い、窓口業務の円滑化を図る。

☆図書館学習スペース環境整備事業（職員アイデア⑤） 【1,145 千円】



視聴覚設備ブースを無料 Wi-Fi サービスと電源利用できる学習(ワーク)スペースに改修し、利用者の需用にこたえる。

☆公図画像データ化事業（県） 【2,904 千円】



和紙公図の経年劣化による汚損等を修復し、データ化することで課税資料として永年保存し活用する。

○個人番号カードでのコンビニ交付事業 【5,934 千円】



住民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、交付システムを導入し、コンビニエンスストアでの8種類の証明書（住民票・戸籍証明・印鑑証明・税証明）の取得を可能にしました。また、マイナンバーカードの普及促進を行います。